

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	交通安全教育推進事業		事業開始年度	昭和45年度		作成責任者
担当部局庁	スポーツ・青少年局		担当課室	学校健康教育課		学校健康教育課長 松川憲行
会計区分	一般会計		上位政策	健やかな体の育成及び学校安全の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	学校保健安全法第3条		関係する計画、 通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	交通事故発生件数(平成20年:766,147件[前年比7.97%減])、負傷者数(平成20年:945,504人[前年比8.60%減])はそれぞれ前年より若干減少しているものの、依然として交通事故が多く発生している極めて厳しい状況が続いている。この状況を踏まえ、学校における実践的な指導内容・方法等について調査研究を行うことにより、学校における交通安全教育の充実を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>① 先進的な交通安全教育実践事業 学校における自転車を中心とした交通安全教育(二輪車、四輪車を含む)に関する具体的な交通安全の諸課題に重点を絞り、交通安全指導に関する実践研究を行う。</p> <p>② 交通安全教育資料の作成・配布 交通安全教育に関する調査等を実施し、その調査結果をもとに、実践的な教師用参考資料を作成して教育委員会等に配布する。</p>					
実施状況	<p>①・②については実施状況なし</p> <p>交通安全業務計画の作成(1,400部)</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	12	11	9	9	0
	執行額	10	12	0		
	執行率	82.8%	109.4%	0.4%		
	総事業費(執行ベース)	10	12	0		
自己点検	支出先・ 用途の把握 水準・ 状況	適切な執行がなされているか検査するとともに、事業の内容及び目的との整合性について確認を行っている。				
	見直しの 余地	①・②については他事業の業務との輻輳により未着手となっており、平成21年度予算においては、従来、委託方式により行っていた調査を本省執行とするなど、スキームの変更があったため、早急に実施体制を整える。				
予算 チームの 監視の 所見 効率化	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、学校における交通安全教育の充実を図ることを目的とした長期継続事業であり、予算執行の観点からも検証を行っている。</p> <p>2. 所見：①長期継続事業であること、また、平成21年度は大半の事業を実施していないことから、必要性が乏しいと考えられるため、廃止すべきである。</p>					
補記	平成20年度については、他事業から流用しているため、執行率が100%を超えている。					

A. 文部科学省
0.03百万円

庁費 0.03百万円

[交通安全業務計画の作成]

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A. 文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	交通安全業務計画の印刷	0.03			
計		0.03	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)